

公表

事業所における自己評価結果

事業所名						公表日	2026年 2月 24日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・特性はもちろん動線等も考慮されていると思います。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・適切であるように工夫しているが、できない時もある。 ・概ね適切であると感じています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・物品や備品の配置や収納の仕方などできることは工夫して行っている。パーティション等を活用している。	・自閉症の子の為に視覚刺激をもっと工夫して減らしていきたい		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1		・稀だとは思いますが、緊急に個別のクールダウンが必要な場合にはスペースが確保できない可能性もあるのでは？		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・随時声がけをしている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3		今後の課題です		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1		・なかなか時間が取れていない。 ・全職員（パートさんも）研修を受けることができるが良い		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			適宜、更新をしていく必要があります		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・策定会議で共有している。 ・フランクに話し合える環境ができています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		「地域支援・地域連携」の分野が他と比べて少し手薄な感じがします。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・継続的なものは共有されていると思います。・小集団活動を行う際は、子どもの特性に応じた活動を職員同士で考えている。 ・スタッフ間でプログラムの情報提供、情報交換等を行っている。	なるべく職員個々に負担がかからないようにチームで話し合う時間の確保を意識していく		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			・随時考え、話し合い支援している（スタッフ間での交流を行っている）。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・随時考え、話し合い支援している（スタッフ間での交流を行っている）。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			・終礼で振り返りを行っている。 ・長時間での振り返りはできないが、打ち合わせ（カンファレンス）ができるよう意識している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			・スタッフが複数で参加することもあった。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7				
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・他事業所での様子は見えにくい所もあると思います。 ・幼稚園、保育園との連携を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			・依頼があれば対応していますが、合理的配慮が必須の児童に関してはこちらから提案しても良いのではないかと思います。 ・保護者からの希望があれば、文書で情報共有している。 ・支援シートでの情報提供を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6			・地域との交流も必要かと思うが、療育目的達成の為に、個別での対応が望ましい子供が多いので交流の場が無くて良いと思われる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7				・対面でのフィードバック、できない時は連絡アプリで報告している。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6				・県からの連絡の情報提供を行っている。プリント掲示している。療育の見学や参加をして頂き、子どもとの関わり方を情報提供している。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				・契約時に細かく説明している。保護者からの問い合わせに随時答えている。	

保 護 者 へ の 説 明 等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・アンケート、面談等で保護者の希望等を聞いている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・随時声がけを行って面談の時間を取っている。 ・突発的な相談にも応じている。	保護者様が相談しやすいように、来所対面だけではなく、オンライン面談も積極的に取り入れていく
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・父母の会等はないので・・・（保護者の希望により）保護者間の情報共有の時間を取った。 ・年長児は不定期で開催している。	・個別、少人数支援という性質上横のつながりを促すことに難しさを感じます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・迅速に対応していると思っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・避難訓練（火事）と行う際には地域にも情報（消火訓練、消防車が来る事）を提供している。	・空間的に招待するのは難しい。
	非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・契約時等に確認している。	
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・おやつ提供時には、注意している。	
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・話し合いで情報共有している。	
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時に「安心安全マニュアル」を配布・説明している	
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハット事例は速やかに共有している	
52		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修や会議でスタッフ間での共有をおこなっている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		会議でスタッフ間での共有をおこなっている		